

令和元年度  
「青少年の翼」参加者アンケート結果

令和2年3月

江戸川区文化共育部健全育成課

# 目次

アンケート調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査の概要.....	1
調査結果 .....	2
1 現在の状況について.....	2
2 派遣後、自身への影響について.....	3
3 「翼の会」やボランティア活動について.....	8
4 「青少年の翼」事業について.....	10



Edogawa Youth-Wing

---

# アンケート調査の概要

---

## 1 調査の目的

---

「青少年の翼」事業では、平成 15 年度から令和元年度まで、延べ 1,275 名の中高生を派遣してきた。派遣後の意識の変化をはじめ、進路選択や留学、ボランティア活動等への取り組み、本事業に対する評価を調査し、プログラムの改善に役立てるため、アンケート調査を行った。

## 2 調査の概要

---

### (1) 調査対象

第 1 回（平成 15 年度）～第 16 回（平成 30 年度）の派遣団員 1,215 名

第 17 回（令和元年度）派遣団員 60 名は派遣後まもなく、回答が調査の目的に合致しないため調査対象から除く。

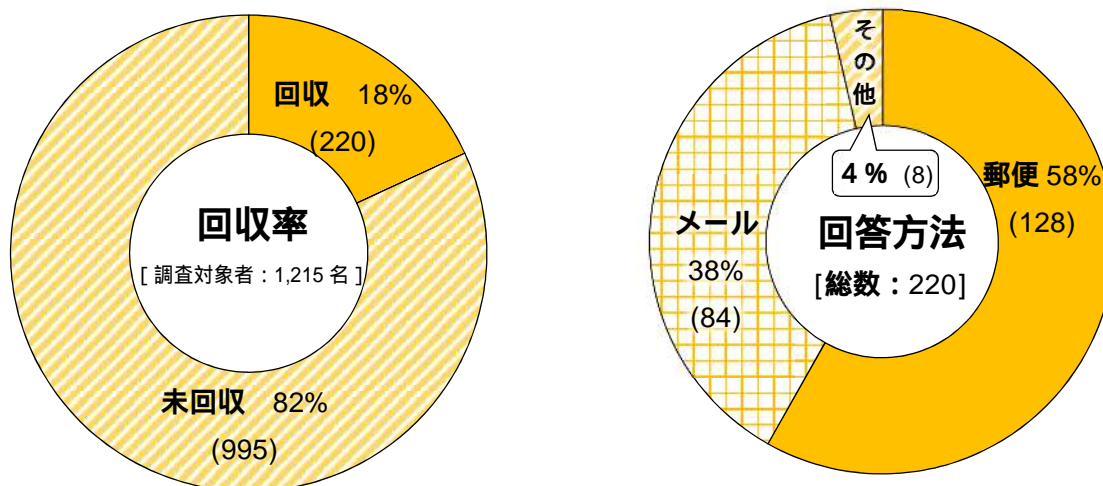
### (2) 調査方法

- ・ 配付：郵送
- ・ 回答：郵送、区ホームページのメールフォーム

### (3) 調査期間

令和元年 10 月 31 日（木）から令和元年 11 月 30 日（土）まで

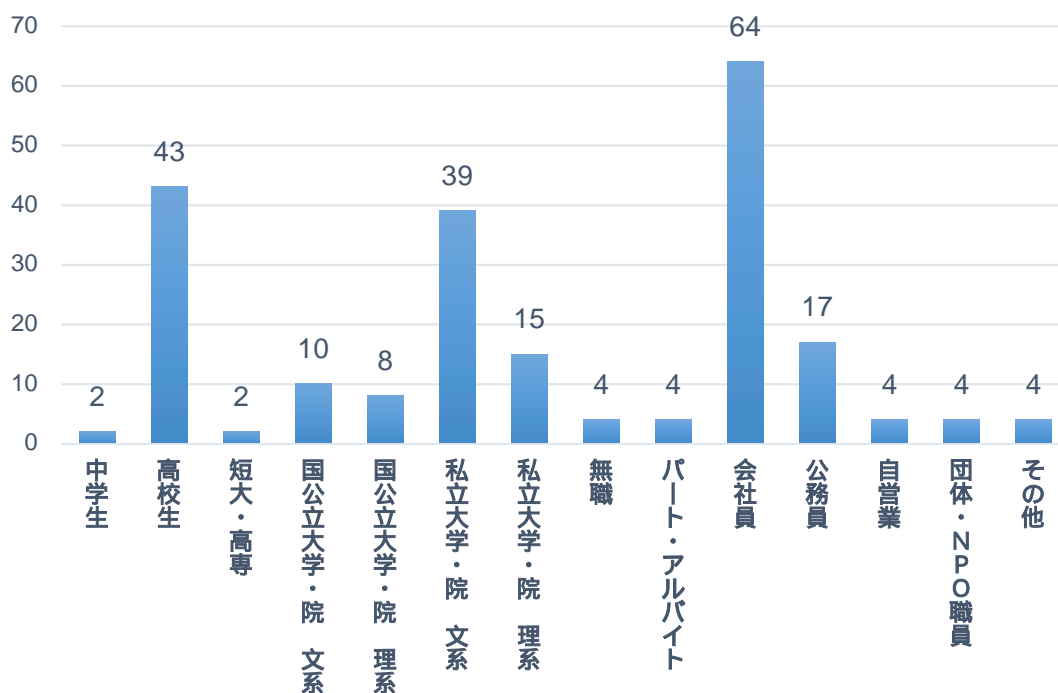
### (4) 回収率・回答方法内訳



# 調査結果

## 1 現在の状況について

問1 現在の状況について、当てはまるものを選択してください。



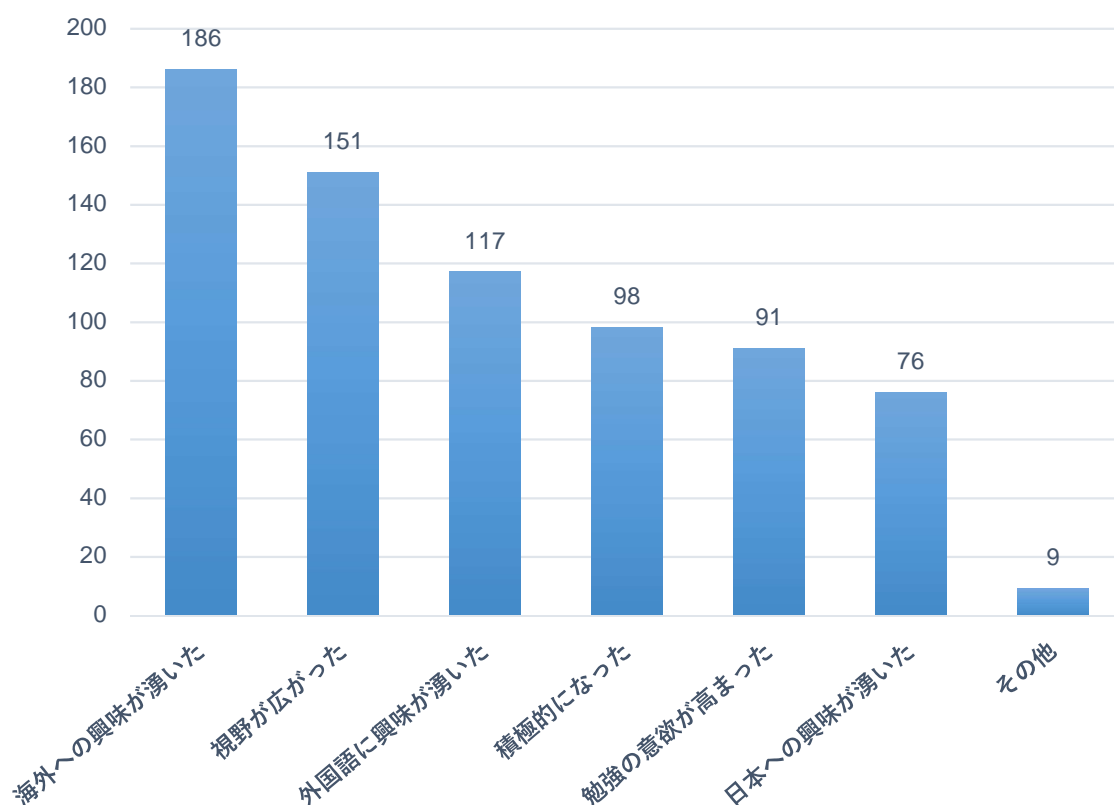
【その他の回答】 ・服飾専門学校生 ・浪人生 ・劇団員 ・無回答

問2 現在の学業（専攻）や仕事内容について、具体的に教えてください。

- ・高校生：外国語コース選択、留学中
- ・大学生：国際関係、外国語、経済・経営、ロボット開発、遺伝子の研究、留学中
- ・無職：浪人生、主婦、JICA 協力隊
- ・パート・アルバイト：事務、接客
- ・会社員：銀行、保険、IT、航空・鉄道、貿易、営業、販売、事務、建築士、看護師、保育士、新聞記者、アナウンサー
- ・公務員：省庁（文部科学省、国土交通省）、自治体職員（県、市、区）、教諭（小学校、高等学校、養護）、消防士、研究者
- ・自営業：弁護士、通訳案内士、俳優
- ・団体・NPO職員：都外部団体、大学職員

## 2 派遣後、自身への影響について

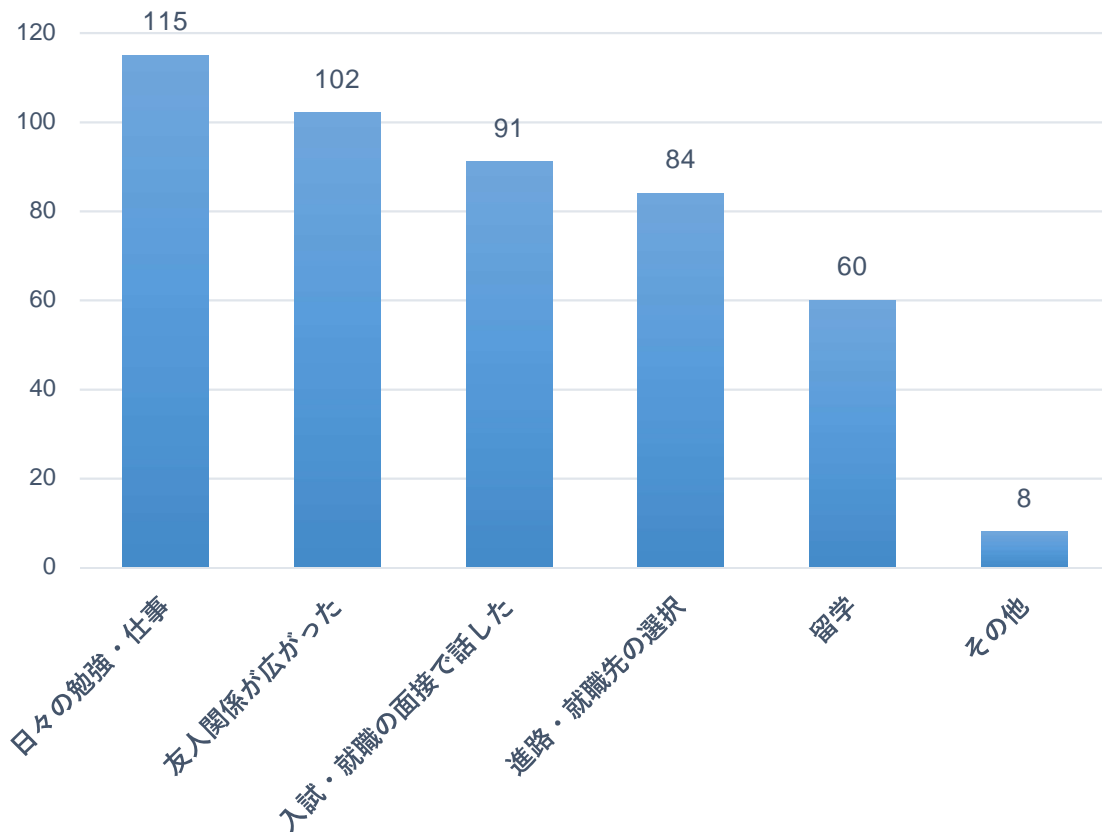
問1 「青少年の翼」への参加をきっかけに、変化したと思うものを選択してください。  
(複数回答可)



### 【主な回答】

- ・自分の体験や考えを「伝える」ことの大切さを学んだ。
- ・海外への興味が湧き、英語をはじめ外国語の勉強への意欲が高まった。外国への留学や、外国人との交流イベントに積極的に参加するようになった。
- ・元々好きだった英語に自信が付き、大学受験の際とても役立った。
- ・1年以上の留学をしたいと思った。海外で働きたいとも考えるようになった。
- ・当時の経験が今の仕事（海外へのPR）につながっていると思う。
- ・「青少年の翼」に参加し、初めて海外での生活を体験したことがきっかけで、広い世界をより知りたいと思うようになり、JICA 協力隊への参加につながった。
- ・海外に行ったことで日本食、日本人の考え方(常識、マナー、人に気を配る)、日本の文化のすばらしさに改めて気が付かされた。また、語学をさらに勉強して世界にいる人々ともっと話をしたいと思った。

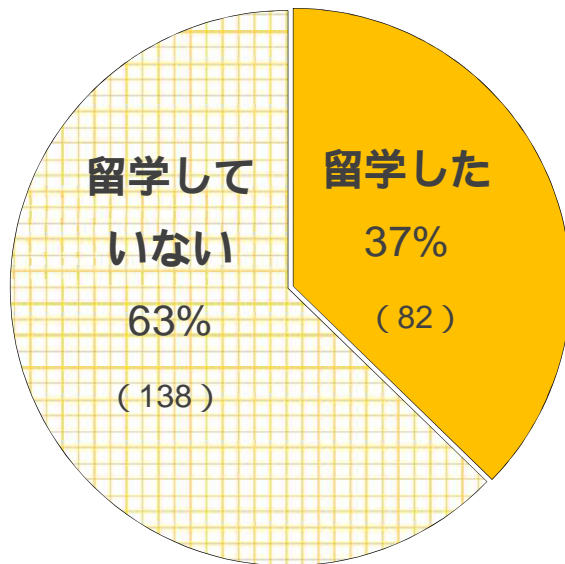
問2 「青少年の翼」での経験を活かしている、もしくは活かせたと思うものを選択してください。(複数回答可)



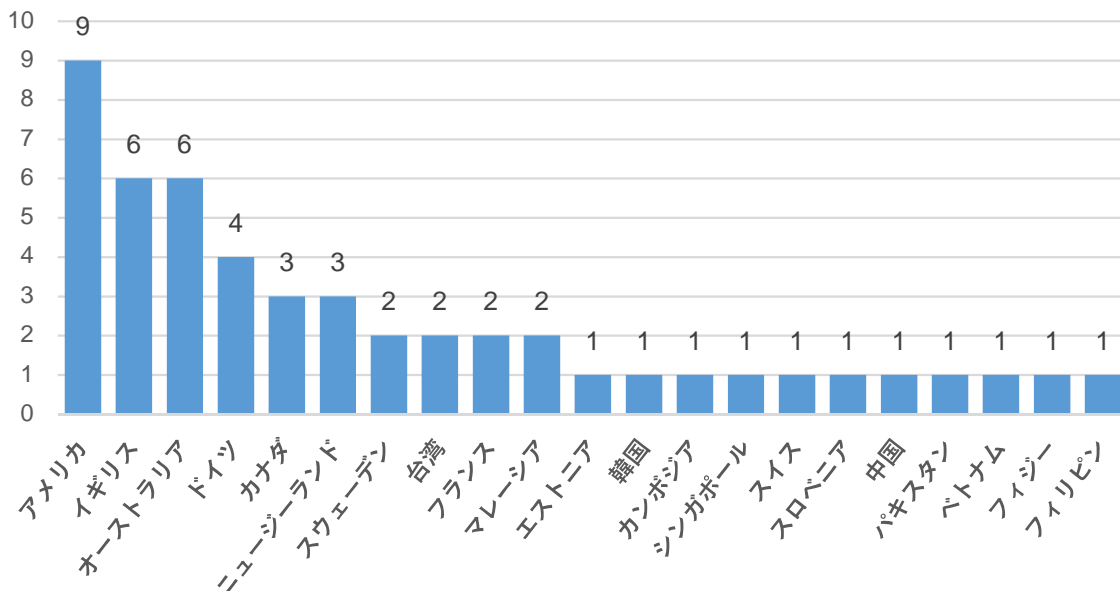
**【主な回答】**

- ・進路を迷っている際のきっかけになった。日本にとどまらず、世界に目を向けて知らないことをさらに吸収したいと思ったため、大学の専攻を国際学部にした。
- ・英語学習に励み、10 か月ほど留学した。現在は服飾専門学校でファッションデザインを学んでおり、英語を使うアルバイトもしている。「青少年の翼」に参加してから180度自分が変わった。友達も国籍豊かになり、英語を使う機会が増えた。
- ・海外で、恥ずかしがらずに自己主張ができるようになった。
- ・「青少年の翼」に参加したい後輩にアドバイスした。

問3 「青少年の翼」に参加したあと、留学しましたか？

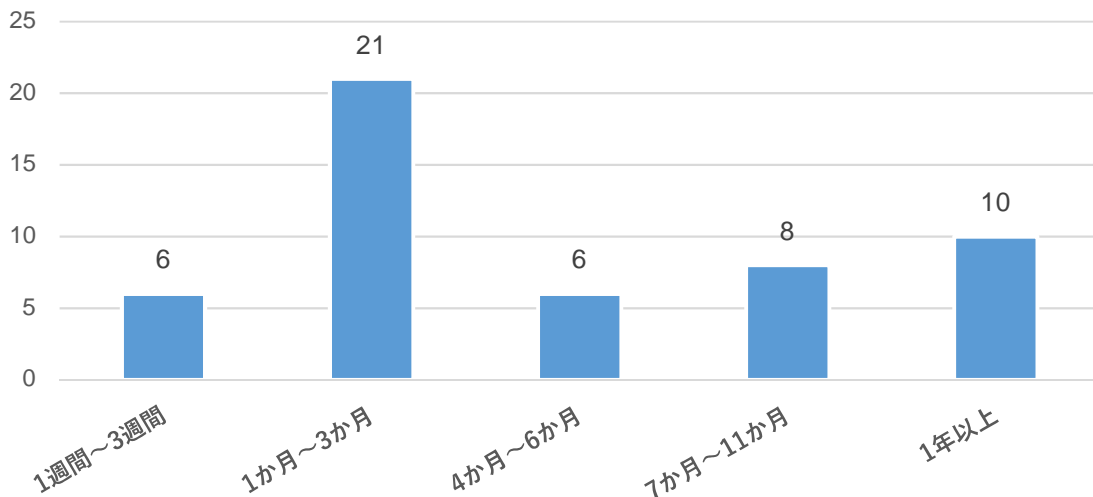


問4 問3で「留学した」と答えた方は、留学先を教えてください。



問5 問3で「留学した」と答えた方は、留学した期間や利用した制度などを教えてください。

### 留学した期間



#### 【利用した主な制度】

- ・高校・大学のプログラム、交換留学、奨学金制度
- ・海外の教育機関のプログラム
- ・「国際青年育成交流事業」(内閣府)
- ・「トビタテ!留学 JAPAN」(文部科学省の奨学金)
- ・「次世代リーダー育成道場」(東京都)
- ・英語科教員対象の派遣研修プログラム(東京都)

#### 【留学の主な目的】

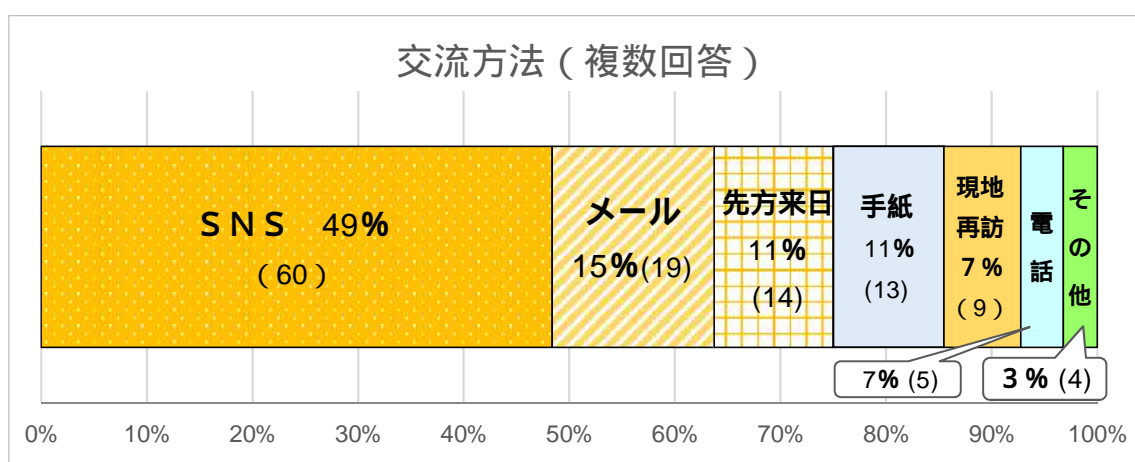
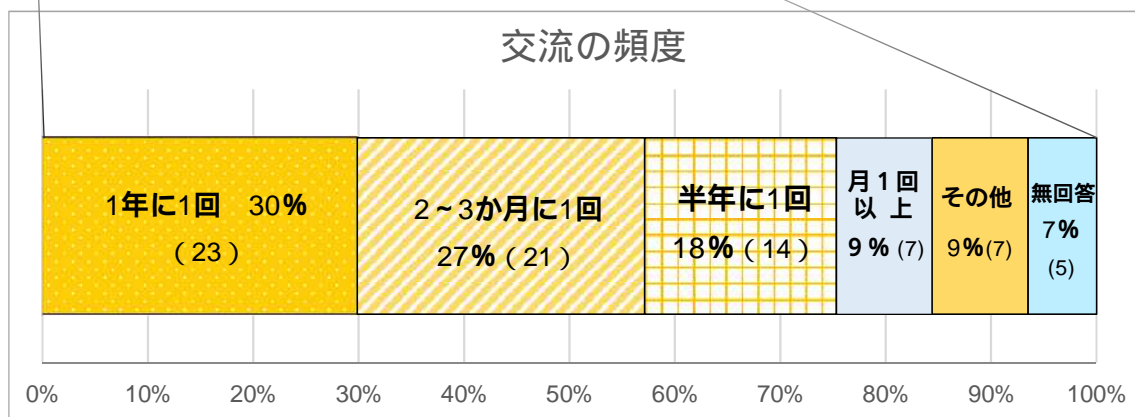
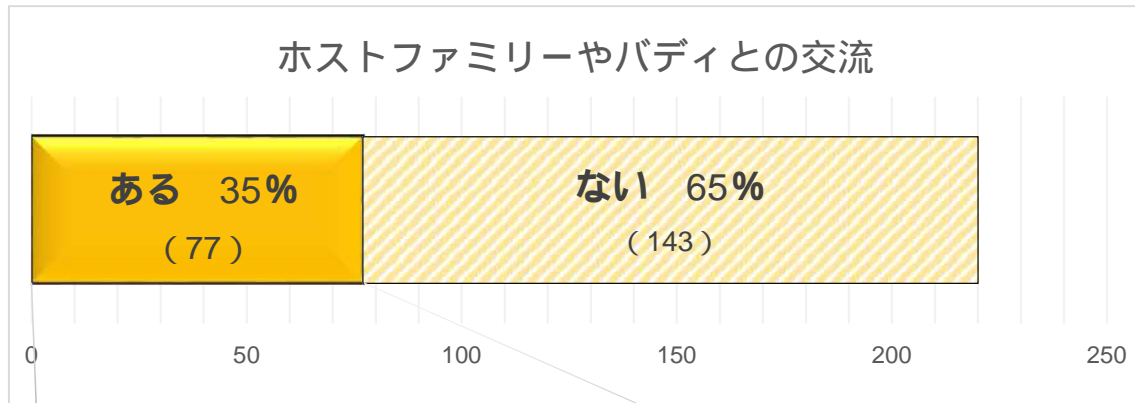
- ・語学力向上
- ・専門分野の勉強
- ・異文化体験・交流
- ・ボランティア参加

#### 【主な活動内容】

- ・現地の高校、大学、語学学校へ通学
- ・研究や論文の執筆
- ・国際バカロレア(世界共通の大学入学資格)の履修
- ・インターンシップ
- ・ホームステイ
- ・文化交流
- ・スポーツなどのアクティビティ
- ・ボランティア

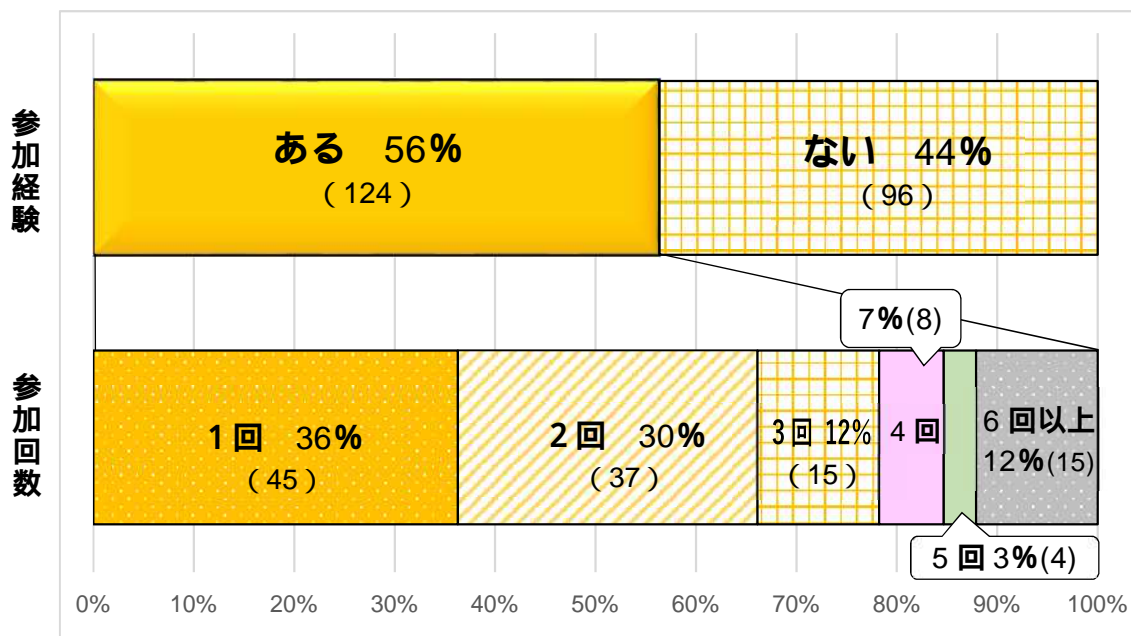


問 6 派遣当時のホストファミリーやバディと交流がありますか。「ある」と答えた方は、交流の頻度や方法について、当てはまるものを選択してください。



### 3 「翼の会」やボランティア活動について

問1 「翼の会」の活動に、参加したことがありますか。



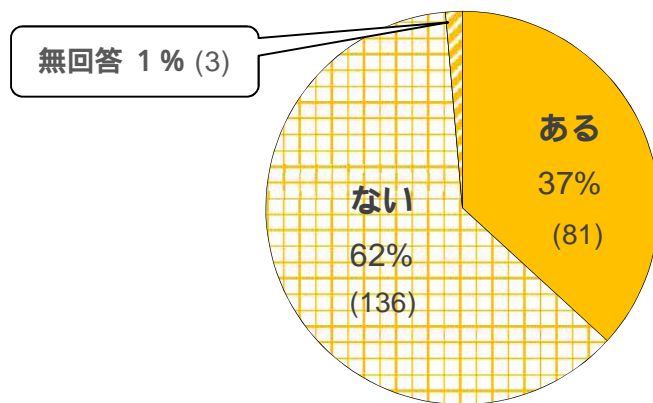
#### 【例】

- ・自主企画：総会、全体同窓会（レクリエーション、先輩の職業紹介など）、バーベキュー
- ・区事業：ガイダンス・事前研修での体験談発表、帰国報告会での司会・受付  
江戸川区民まつり参加、えどがわ～るどフェスティバル参加

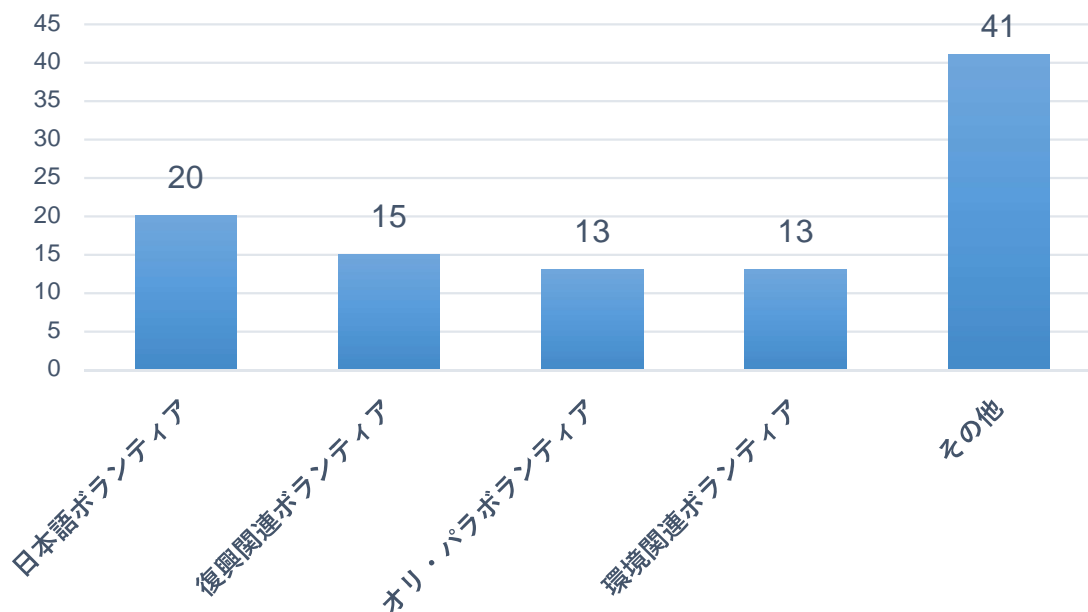
#### 「翼の会」とは？

「青少年の翼」に参加した団員のOB・OGで構成される団体。世代を越えた交流を目的として、自主企画の活動を行っている。現役団員に向けた体験談発表や区の国際交流事業への参加など、さまざまな場面で活躍している。

問2 ボランティアに参加したことがありますか。



問3 問2で「ある」と答えた方は、活動内容を教えてください。(複数回答可)



【主な回答】

- ・日本語：留学生への日本語ボランティア
- ・復興関連：被災地でのがれきの撤去、炊き出し
- ・オリ・パラ：観光案内、東京都「おもてなし親善大使」「外国人おもてなし語学ボランティア」
- ・環境関連：清掃活動、ゴミ拾い
- ・その他：イベント運営補助、障害者支援、区の事業

## 4 「青少年の翼」事業について

---

問1 派遣当時のプログラム等で印象に残っているものは何ですか。

### 【主な回答】

- ・学校体験
- ・ホームステイ、ホストファミリーとの交流
- ・市長表敬訪問
- ・歓迎・さよならパーティー（出し物披露）
- ・文化交流（現地の文化体験、日本文化の紹介）
- ・事前・事後研修、出発式、帰国報告会

問2 これから「青少年の翼」に応募する中高生にメッセージをお願いします。

### 【主な回答】

#### 視野が広がった

- ・自分の世界が広がるチャンスです。ぜひ挑戦してください。
- ・自分の今の当たり前は、当たり前じゃない。ホストファミリーや学校の友達と過ごす中で学校生活や暮らしの違いに触れ、驚きの毎日でした。初めての海外で言葉も通じるか心配でしたが、ホストファミリーは親切にしてくれました。英語が得意でなくても、伝えたい気持ちと少しの英語があれば大丈夫。

#### 英語が苦手でも...

- ・コミュニケーションは、伝えたいという気持ちが大事。「英会話は苦手」と思う人にこそ行ってほしいです。
- ・人生の中でこれほど濃い2週間はないと思います。英語が好きな人はもちろん、苦手な人ほど派遣先での生活は感動が大きいと思います。

#### 日本人としての自覚

- ・海外から客観的に日本を見ることで、日本人としてのアイデンティティーや誇りを再確認でき、将来誰のためにどんなことをやりたいのかを改めて考える良い機会になりました。

### 経験は一生もの

- ・外国への憧れ、英語への興味や学習へのモチベーションが高まりました。きっかけは「何となく楽しそうだから」、ただそれだけでしたが、その後の進路や私の人生に間違いなく大きな影響を与えてくれました。日本では決してできない体験を、これから団員として経験するあなたを、団員経験者の私もうらやましく思います。
- ・英語の勉強よりもずっと大切なことを体験できました。その経験は10年以上経ち、社会人になった今でも自分の根幹にあります。
- ・応募を迷ったり、自分の英語力では足りないのではと心配している人もいると思いますが、必ず何かを感じ取り、それが自分の人生に生きる時が来ます。一生ものの思い出、学び、仲間を得られます。
- ・初めての海外で不安もあったけれど、振り返ればすべて自分の成長に繋がる貴重な経験になりました。この経験がないと今の自分はありません。
- ・10年以上経っても、仲間たちとたくさんの経験をした2週間が忘れられません。

### 進路・職業につながった

- ・大学病院に就職しました。「あの時もっと英語力があれば伝えられたのに」という思いを胸に、海外からの患者さんが安心して入院生活を送れるよう英会話を学んだりして、臆せず対応できるようになりました。この経験は必ず将来につながります。
- ・現在、高等学校英語科の教員として働いています。ホームステイ等を通して多様な価値観を感じたことで「外国のことを知って面白い」「英語をもっと学びたい」と思いました。その気持ちが現在の職業につながっています。

## 問3 「青少年の翼」事業全体にご意見などありましたら、ご記入ください。

### **【主な回答】**

#### 事業の継続を

- ・参加できたことを今でも誇りに思うし、この事業が続いていることに心から感謝します。
- ・若者の視野を広げる良い機会なので、ぜひ今後も継続してほしいです。
- ・中高生の時期に海外の学生と接点を持ち、異なる文化に触れる、かけがえのない機会となりました。事前・事後のサポートも手厚く、意欲的に取り組める環境が整っているので、今後も継続してチャレンジ精神のある学生を送り込んでほしいです。
- ・これ以上良い海外派遣プログラムを見たことがありません。
- ・数年前から募集人数が減ってしまったと聞き、残念です。中高生に海外渡航やホームステイという貴重な体験をさせてくれるこの事業は、将来の江戸川区ひいては日本全体に貢献する人材をつくる点で、非常に効果的だと感じています。

### 「青少年の翼」事業に協力したい

- ・参加をきっかけに自分の人生が変わったと思うので、今後もイベントやボランティアがあれば積極的にやりたいです。
- ・ホームステイの受け入れやボランティア等でできることがあったら、いつでもお声掛けください。

### もっと広まってほしい

- ・今年の帰国報告会の様子をテレビで見て、自身の経験を懐かしく思い出しました。大変有意義な事業と感じていますが、区民への認知度はあまり高くないように感じます。
- ・オリンピック・パラリンピックも近づいている今、外国に興味を持つ子どもたちが増えていると感じます。さらにこの良い経験が、多くの子に広まることを願っています。区内の小学生にも広める機会を与えてほしいです。

### 現地の友人・ホストに再会

- ・派遣から 3 年後、現地の友人たちに会いに行きました。学校に行き、先生や生徒に再会しました。今度は友人が日本へ来ます！
- ・大学 1 年生の夏休みに、初めて一人で飛行機に乗ってホストファミリーのもとを再訪しました。2 年後の現在、また遊びに行くことになりました。すてきな縁に導いてくれた「青少年の翼」に本当に感謝しています。

### 区民で良かった

- ・将来を考えるきっかけになり、英語を話すことに自信を持てるようになりました。江戸川区民で良かったです。
- ・結婚後も江戸川区に住んでいます。自分の子どもたちの未来をもっと広げてあげられるよう、「青少年の翼」に参加させたいと思っています。

#### **「青少年の翼基金」とは？**

故・野村喜代氏、故・立井隆氏からの多大な寄付により設置した「野村・立井国際交流基金」を活用し、平成 15 年に「青少年の翼」事業をスタートしました。この善意は広く受け継がれ、平成 23 年以降、毎年多大な寄付をいただいている京葉鈴木記念財団をはじめ、これまでに 370 件を超える寄付が寄せられています。

平成 27 年に名称を「青少年の翼基金」に改め、未来へ夢を描く青少年を後押ししています。